

# さわやかさん交流会開く 25人参加 会員が増えたことがうれしい 相手の会員さんに会えない

友の会の機関紙である「下町の健康」と「かばら支部ニュース」などを友の会員宅に届ける「さわやかさん」の交流会が1月25日、蒲原診療所で25人の関係者が集まり開かれました。

参加した「さわやかさん」はそれぞれの配布地域、配



さわやかさん交流会の様子

布部数、配っていき付いた会員さんの様子や地域の様変わりなど、率直な意見を話し合いました。昨年、10月からの「友の会員等拡大月間」で新たに配布先が増えたさわやかさんは、「会員が増えたことがうれしい」と感想を述べ、「私の所は二軒増えた」と紹介するさわやかさんもいました。また、配布先でも、「あいさつしようと思っても、なかなか相手の会員さんに会えない」苦勞話しや、長期の留守宅になっていて、「新聞を配って良いものか？」判断に迷う例など、配布するこ

とで出会う戸惑いの事例も出されました。中川地域・他から出された話では「蒲原診療所・歯科診

療所に長年通院していた友の会員も、高齢になり足腰の弱さが目立つ様になると、通院できなくなる人が多くなって来ている」と高齢化による通院困難の現状も出されました。

この交流会では3月29日に予定されている南房総への「イチゴ狩り」に行く「バスのハイク」の行事の紹介もあり「台風19号被害の支援の意味もあるので回りの人

## 『時代は変わっても』 ファミリーケア柳原綾瀬営業所

ファミリーケア柳原綾瀬営業所の齋藤潤子です。訪問介護の仕事に付いて気づけば18年が経ちました。当時事業所は、毎日職員の出入りが多く活気に溢れていました。女性ばかりの職場でしたが、新鮮で楽しくて、マイペー

スな私もすぐに馴染むことができました。公園で雀を相手に10分でおにぎりを食べられるようになりました。現在は、ファミリーケア柳原のサテライトとして職員8名、二日の訪問件数は約30件程度になっていきます。職員は、10年越えのベテランヘルパーが

多く穏やかな雰囲気職場です。利用者様やご家族とのコミュニケーションを大切にしており、利用者アンケートでは温かい言葉を頂いています。また、ご指摘頂いた内容については、みんなで取り組み対策を考えることに力を入れています。月1回の学習会では、技術力を高めスキルアップを図っています。

今、介護人材不足が深刻な問題となっています。令和元年版の「高齢社会白書」によれば、その要因の一つには、「少子高齢化」の問題があるとも言われています。人口が減少していくなかで高齢者が年々上昇傾向にあります。対策と改善案は他人事ではありません。現在綾瀬営業所も明

るく元気に働けるスタッフを募集しています。2021年には介護保険改定もありますが、利用者様の立場・視点に立った改定であることを願い、これからも地域に根付いたサービスを関連機関と共有、協力して支援させて頂きます。

齋藤 潤子



綾瀬営業所のスタッフと



お礼をする若松事務長

報告 支部役員会。

# 映画『明日へ』を見て 「戦争は罪悪」繰り返してはならない

私もこの映画で紹介された争体験者が高齢になり、多ていた国会前のデモに戦争体験者のメッセージをプラカードにして参加していた。その方はもう少し戦争が続けば知覧特攻隊として出撃していた方である。

戦後は「二度と生徒を戦争に行かせてはいけない」と日本の教育運動に携わった方で、平和が脅かされつつある今日に苦しんでいた。

私は職場の先輩や病院の患者さん、高齢施設の入居者の方々から、戦争の非人間的な行為をたくさん聴く機会があり、平和でなければ人間としての尊厳は得られない。今年は戦後75年、戦

争体験者が高齢になり、多くの方々が亡くなられていく。戦争体験された方ではないけれど、歴史は繰り返されると言われるが、絶対に人と人が殺し合う世が来てはならない。（今でも戦争をしている地域がある）

その為にも語り継ぐことの大切さを再認識した映画であった。

憲法9条。遠く中東のアフガニスタンで銃撃を受けて亡くなられた中村哲医師の志と業績。ローマ教皇が昨年来日した折の反核メッセー

ジなどが平和の礎として脳裏に浮かんだ。そして「戦争は罪悪」であると言ったことを、これからも語りつないで行こう。

武田幸子（元看護師）



**洪水ハザードマップ**

公表 1323市区町村

未公表 24市町村

## 江東5区・ハザードマップ 洪水被害との闘い・治水

1月29日に江東5区と洪水ハザードマップについての学習会がありました。

2004年に台風が10個襲来し死者240人出ました。これを受けて2005年に洪水浸水想定区域とハザードマップの公表が義務化されました。

総雨量589mm、時間最大雨量114mm（平成12年9月の東海豪雨と同じ規模）

を基に作成しています。

荒川、利根川、中川、江戸川は最初、東京湾に流れていました。明治43年に東京も大水害に見舞われ荒川の流れを岩淵で隅田川から新たに掘削した荒川放水路に変え、ほぼ現在の河川の形になった。大都會を守るため大雨の時に一時水を調整池に流し、あるいは東京の反対側の堤防を低くして人為的に越水させる等の工夫がされている。また、堤防の決壊は堤防を越えて人家側に流れ出し堤防の一番下が侵食されて次第に堤防が崩れて決壊するそうで

## 乳腺外科医師は無罪です わいせつ行為は患者の幻覚です

2016年8月25日に柳原病院で右胸から乳腺腫瘍を摘出する手術を執刀した外科医師がこの手術の女性患者から「わいせつな行為をされた」と訴えられ逮捕された乳癌外科医師冤罪事件。昨年2月に東京地裁で完全無罪判決を勝ち取りましたが検察の控訴により東京高裁に係属しています。

1月23日に「高裁無罪判決をめざす決起集会」が小雨降る寒い夜でしたが100余名の参加で成功しました。

外科医師を守る会の野田秀樹さんから東京地裁の無罪判決の内容をスライドをまじえて冤罪事件に仕立てた検察と無罪判決の正しさを明らかにしました。黒岩哲

す。これを防ぐために人家側に堤防の高さの30倍を土盛りをする高規格堤防をつくる計画が策定されたが人口密集地では工事が難しくお金が莫大にかかるので虫

食い状しか完成していません。次回2月28日には具体的な防災計画の講演があります。報告 渡辺 政次



外科医師冤罪事件 4月27日にも判決  
裁無罪を目指す決起集会  
主催 外科医師を守る会 2020年1月23日